

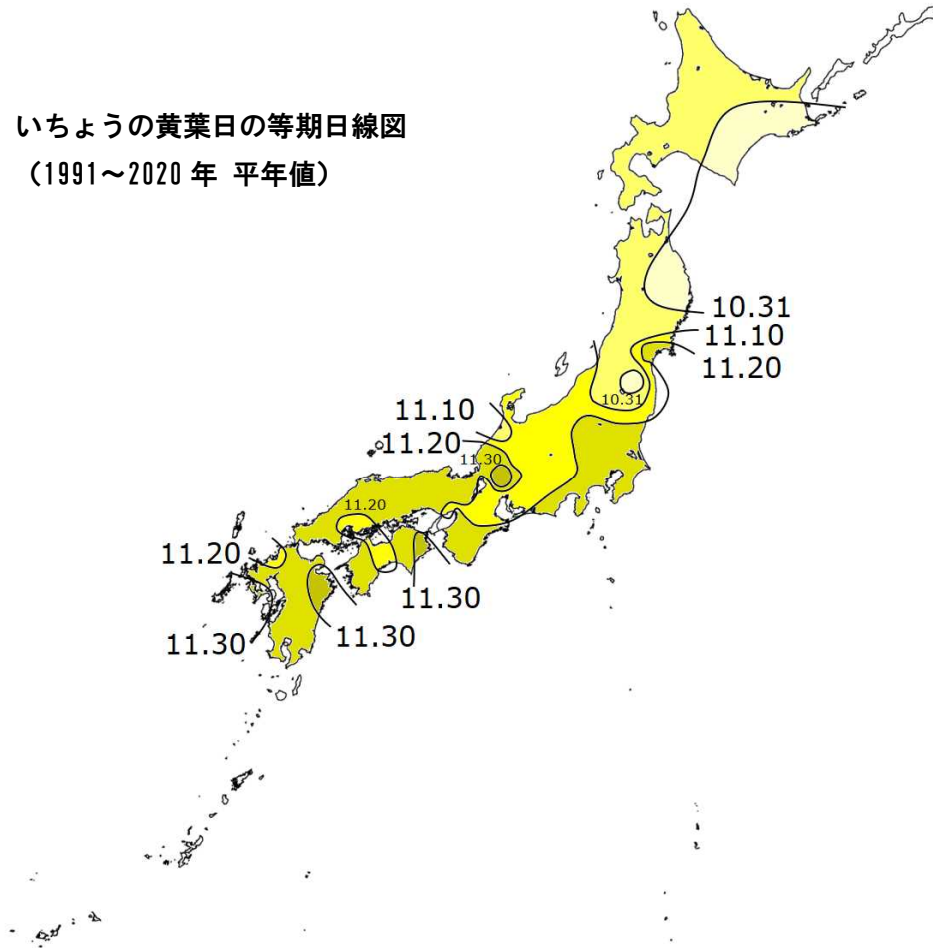
いちょうの黄葉日



いちょうの黄葉日とは、標本木全体を眺めたときに、大部分の葉が黄色に変わった状態になった最初の日を言います。いちょうは中国が原産地といわれる落葉高木で、社寺の境内や街路に多く植えられ、食用の銀杏が実ることからもよく知られた

植物です。いちょうは黄葉の他、落葉を観測しています。

いちょうの黄葉日の等期日線図
(1991~2020年 平年値)



いちょうの黄葉は、10月下旬に北海道太平洋側東部や東北地方太平洋側で始まります。11月10日に北海道日本海側、東北地方日本海側にかけての地域、11月20日には北陸地方から東海地方にかけての地域に達し、11月終わりから12月初めにかけて関東地方から東海地方の太平洋沿岸、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方に達します。